

入選

私たちが知らなければいけないこと

浦和実業学園中学校 一年 武藤 羽礼

私たち地球上の生き物にとって、水は無くてはならない大切なものです。人間の体重の約六〇％は水分で、二％失われると喉が渇き、五％になると頭痛やめまいなどの脱水症状があらわれ、一〇％以上になると、恐ろしいことに死に至ることもあるそうです。

私は炭酸水が大好きで、毎日五〇〇円を二本は飲みます。学校や習い事に行くときには水を水筒で持参します。その他にも、毎日の食事にだって使われています。水は、私たちが生きていく上で大切なものなのです。

私は小学生のとき、水は様々な姿に形を変えて循環していることを学びました。しかし、なぜ水は有限といわれているのでしょうか？

地球は水の惑星といわれ、七〇％は水でできています。しかし、このほとんどは海水で、生活に利用できる水は、たったの二・五％です。しかもその水の七〇％は氷や氷河であり、私たちが利用できる水は、地球上の水のわずか〇・〇一％しかないのです。それなのに、人口の増加や一人あたりの水の使用量の増加によって減少しているのです。私たちは毎日、飲食の他に、トイレ、風呂、洗濯や掃除にも水は使います。私たちが健康に暮らすには、たくさんの水が必要なのです。

しかし、私たちは蛇口をひねれば水が出るという便利さに、ついつい水を無駄にしてしまいがちです。私も髪を洗う時に、シャワーを出しっぱなしにしてしまうことが多々あります。歯磨きのときはコップに水を入れておくなど、意識して気をつけないといけないなと思いました。

私は、この限りある水をみんなで協力し、大切に使うことが世界の課題だと思います。風呂の残り湯を洗濯に再利用したり、食器を洗う時は、汚れを拭き取ってからため洗いすることで節水となります。シャワーも五分間とめること

で、約三〇％も節水できるので、節水するために積極的に取り組んでみようと思えます。

世界では、安全な水を飲むことができない人たちがいます。日本では考えられませんが、世界で見ると安全かもわからない川などの水を飲む子どもたちもいます。私は運のいいことに安全な水がある日本に生まれることができ、いつでも安全な水を飲むことができます。しかし、この水を飲めば死んでしまうかもしれない、でも水を飲まなければ死んでしまう、そういう日常に悩まされている人たちは世界中にたくさんいます。このような人たちが同じ地球にいて、ことをよりたくさんの人に知ってもらえたらいいなと思います。

小学校の時ユニセフ募金の活動がありました。ユニセフについてあまりよく知らずに募金をしていたときもありましたが、ユニセフは国と国同志が協力し合って、安全な水、病気の治療、ワクチンなどを届けていることを知り、私も節水など今できることしなければいけないなと思いました。

便利になり、ついつい楽をしてしまう私たちですが、もっと真剣に今の水の現状と向き合い、限りある水を大切に使いながら、水の惑星と呼ばれている地球を守っていかねばいいなと思います。